

平成 23 年度事業計画書

(1) 特定非営利活動に係る事業

<ア> スリランカよろず相談窓口事業

<イ> スリランカの公共トイレ・井戸の再建事業

(1) モリコロ基金からの助成金が得られれば以下のようにトイレを建設する。

現地コーディネーターのチャミット氏により、トイレが緊急に必要であり、保護者の労力奉仕が得られる幼稚園の調査が行われ、次の7つの幼稚園を選択した。この7つの幼稚園に汚水処理付トイレを建築する。7つの幼稚園の名前と児童数等は次の通りである。()内は村名と児童数を表す。マハマーヤー(ガリガムワ村;25名)、シュリーボーディ(アラワラ村;16名)、ランタル(ダンデニヤ村;20名)、プブドゥ(ウェラガラ村;12名)、シギティ(ウェヘラガラ村;14名)、ムトゥリヤンディ(ハッラワ村12名)、プブドゥ(マルマドゥワ村;10名):マハマーヤー幼稚園のみガリガムワ郡、他の6つは、ワルカーボラ郡に位置する。

(2) 「東南アジアに学校を作る会」(和歌山県宝珠寺)からの寄付金30万円をもとに、ガラピタマダ村の大学校における井戸を含む給水システムを再建する。

<ウ> スリランカ人を対象とした教育振興、人材育成及び雇用促進事業

(1) 人材育成・雇用促進事業:水晶細工職人アーリさんによる水晶細工の製品開発を支援する。各種の水晶ペンダントを試作し、販売を考えている人に提供する。

(2) 人材育成・雇用促進事業:スバ・ランカ農園の維持管理を行い、と同時に、新たに植樹を行い、カシューナッツ栽培を促進し、農業振興による雇用促進、さらには地球温暖化防止に寄与する。周辺農家に呼びかけ、カシューナッツ栽培協働組合を作る。

(3) 教育振興事業: 「世界健康フォーラム」からの寄付金10万円をもとに、ランムトゥ児童発展センターのデイケア・センターにおける給食設備を供与する。

<エ> 日本語・日本文化普及、教育・技術指導等に係るボランティア支援推進事業

(1) 日本語ボランティアの招へい

サバラガムワ大学の近隣にあるバランゴダ市内の Japan and Sri Lanka Combined College、バランゴダ市近郊のインブルペにある施設、ニッタンプワの僧院学校において、平成23年度に日本語クラスを開設し、その日本語クラスで教える日本語ボランティアをインターネットで募集する。バランゴダに日本語ボランティアのための宿舎を借りる。

(2) 国語・漢和辞典等の送付と贈呈

無償供与された辞典類をサバラガムワ大学日本研究専攻の学生に贈呈する。

<オ> スリランカの物産の紹介と普及事業

(1) スリランカ紅茶 (2) カシューナッツ (3) バナナ・バッグ (4) 水晶細工

<カ> スリランカと日本の文化交流事業

(1) シンハラ語講座 (2) スリランカ・ツアー

収入想定総額 1,328,000円

1 会費・入会金収入 88,000円(会員83名、新入会員5名) 2 事業収入 0円

3 寄付金収入 1,240,000円(「東南アジアに学校を作る会」300,000,モリコロ基金助成金790,000,[世界健康フォーラム]100,000 会員寄付50,000)

繰越金 38,569円

